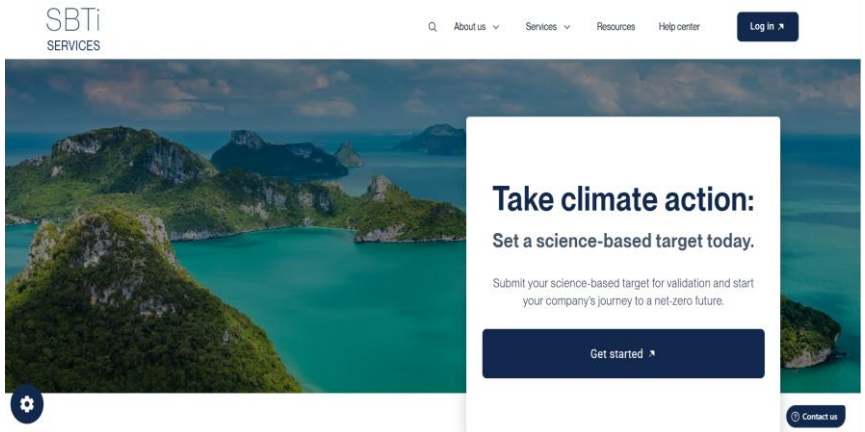
5. SBTの手続き

SBTの窓口

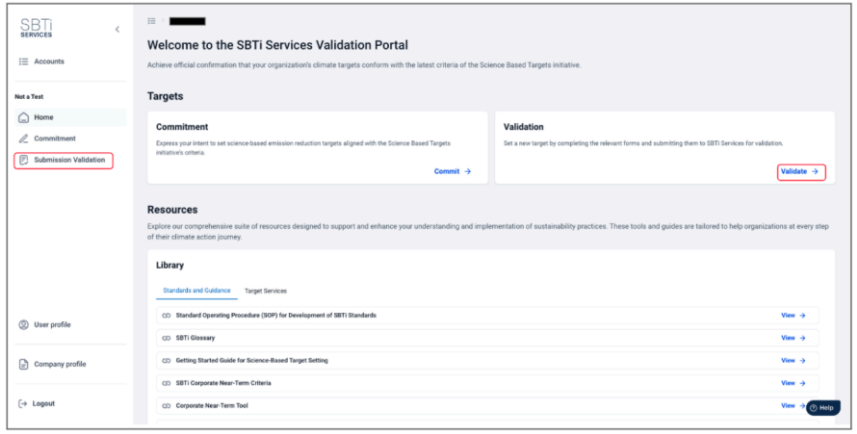
■ SBTi Servicesが全組織のSBT申請・目標検証等の手続き窓口となっている。

SBTi Services

- ✓ 提供：2024年10月より
- ✓ 運営：SBTi Services Limited※
- ✓ アクセス：https://sbtiservices.com/
- ✓ 概要：
  - SBT設定のための手続き関連が一元化されたサイト
  - 全ての組織の申請や目標検証等が、本サイトの検証ポータル（Validation Portal）を通じて行われる
  - 手続きに関連するガイダンス等は、全て本サイトのResourcesタブから閲覧できる



▲SBTi Servicesウェブサイト



▲検証ポータルのイメージ

※ SBTiの完全子会社

[出所] SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/）、
Validation Portal: Corporate Submission Manual（https://docs.sbtiservices.com/resources/ValidationPortalSubmissionManual.pdf）より作成

SBT設定の対象組織

■ 対象組織は大きく企業・金融機関・中小企業であり、石油・ガス会社や公的機関等は対象外となっている。

対象組織	SBTiへの参加資格を有する企業、金融機関、及び中小企業 ✓ 企業 • 金融機関の適格基準や、中小企業向けに特化した検証ルートの基準を満たさない事業体の組織形態 ✓ 金融機関 • 投資、融資、保険活動から5%以上の収益を得ている事業体（例：銀行、資産運用会社、プライベート・エクイティ企業、アセットオーナー、保険会社、不動産担保型投資信託 等） • 金融機関向けの目標設定フレームワークが提供されている • 専用の基準及びガイダンスに準拠する必要がある ✓ 中小企業※ • 一定の収益、資産、または従業員数の基準を下回る企業
対象外	✓ 登録プロセスを完了していない、または登録が却下された企業 ✓ 現在のところSBTiで正式に目標の検証ができないため除外される組織 • 石油・ガス会社 ✓ 対象外だが、独自に目標を設定する際は短期目標やネットゼロ目標の手法を活用することが推奨される組織 • 地方政府 • 公的機関 • 教育機関 • 非営利団体

※ 中小企業についてはP95を参照

[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）、Getting Started Guide For Developing Science-Based Targets Version 1.2（https://files.sciencebasedtargets.org/production/files/Getting-Started-Guide.pdf）より作成

【参考】SBT設定の対象組織

あなたの組織の種類は？

- NGO、その他の公共団体など → 現在SBTiでは、市区町村、地方自治体、公的機関、非営利団体の目標評価は実施していません。市区町村及び地方自治体は、科学的根拠に基づく目標設定ネットワーク(SBTN)のガイダンスに従って気候目標を設定することができます。その他のステークホルダーは、SBTi企業ネットゼロ基準の文書に詳しく記載する科学に基づく気候目標の設定手法を利用するよう推奨します。
- 企業または国有企業 ↓

あなたの会社は親会社ですか、子会社ですか？

- 子会社 → 子会社としてSBTを設定することもできますが、目標はできれば親会社レベルまたは企業グループレベルで提出されるのが望ましいです。親会社はバウンダリ基準に従い、提出する目標に全子会社の排出量を含めなければなりません。バウンダリ基準については、SBTi企業短期要件とSBTi企業ネットゼロ基準に詳しく記載してあります。詳しくは、SBTi目標検証の手続きをご覧ください。
- 親会社 ↓

石油・ガスセクターですか？

- はい → 石油・ガスセクターの企業は、化石燃料関連企業に関する暫定方針を参照しなければなりません。SBTi石油・ガスセクター向けウェブページで最新情報をご確認ください。
- いいえ ↓

金融機関ですか？

- はい → 金融機関は、SBTi金融機関短期要件を用いて短期目標を設定することができます。あるいは、金融機関ネットゼロ基準とSBTi企業ネットゼロ基準を併用することで、短期目標及びネットゼロ目標を設定することが可能です。
- いいえ ↓

あなたの組織は中小企業（SME）ですか？

- はい → さらに詳しくは、中小企業(SME)向けFAQをご覧ください。中小企業は、中小企業(SME)向け簡素化目標審査ルートを利用して、簡素化したルートで短期目標とネットゼロ目標を提出することも可能です。
- いいえ → 企業全体規模のScope1及びScope2の温室効果ガス排出量のインベントリは、GHGプロトコル企業基準とGHGプロトコルScope2ガイダンスの定義に従って完了しなければなりません。また、企業は、GHGプロトコル企業バリューチェーン（Scope3）算定・報告基準に従い、各カテゴリの最小限バウンダリを考慮して、該当する全カテゴリのScope3排出量インベントリ／スクリーニングを完了しなければなりません。企業は、参考資料としてGHGプロトコルScope3算定ガイダンス及びCDPサプライチェーンプログラムを活用することができます。なお、企業は、Scope1,2及びScope3のGHGインベントリ全体と並行して、SBTの設定をコミットメントすることができます。

[出所] Getting Started Guide for Developing Science-Based Targets Version 1.2 （https://files.sciencebasedtargets.org/production/files/Getting-Started-Guide.pdf）より作成
※上記の埋め込みリンクは、2026年４月27日時点の最新文献、P92を参照

SBT申請の流れ

① Resister

② Commitment

③ Develop

④ Submit

⑤ Communicate

⑥ Disclose

認定前フェーズ

1. 検証ポータルを通じた登録
2. 任意のコミットメント
3. 基準に準じた目標策定
4. 目標を申請、検証開始

認定後フェーズ

5. 結果の通知・公開
6. 進捗状況の開示

① Resister：検証ポータルへの登録

- SBTi Servicesの検証ポータル（Validation Portal）を通じて登録を行う。
- 登録承認後、企業は該当する組織タイプに応じた次の段階へと進む。

登録	SBTi Servicesの検証ポータル※1を通じて登録 ✓ SBT設定を目指す全ての企業は検証ポータルに登録する必要がある ✓ 登録プロセスを完了し、参加資格（適格性）を判断される ・ 登録要件及び手続きについては、登録マニュアルを参照しつつ、記載された必要情報をすべて入力し、受理される必要がある ・ 最大10名までの主要連絡先（SBTを排出削減戦略の一部として確実に統合する責任を持つ経営幹部レベルの担当者を1名以上含める）を追加する ✓ 適格であると判断された企業には、組織区分（企業、金融機関、中小企業）及び料金ティア※2が通知される

※1 検証ポータル登録時点では企業名が公開されることはない。ただし、申請プロセスが完了・承認後にSBTiのウェブサイトに企業名が掲載される。また、登録後は必ず検証段階に進まなければならないという義務はない。
※2 料金ティアについてはP51,52参照
[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）、SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/services/corporates_fi）より作成

② Commitment：コミットメント（任意）

■ コミットメントとは、24か月以内に目標申請を行い、検証を受ける宣言のことである。
■ コミットメントした場合にはSBTiのウェブサイト等で掲載される。

コミットメント	✓ コミットメントとは、24か月以内に目標を策定しSBTi Servicesに申請、検証を受ける宣言のことである ✓ 検証ポータル内で完了する ・ 検証ポータル内の「Commitment」セクションから「Make a commitment」ボタンを押下 ・ SBTiコミットメントと目標ステータスを確認し、同意する ✓ 目標がコミットメント期間内に提出され、目標検証プロセスの完了を待っている状態にある場合、「Active」として公開される ✓ コミットメントが提出されると、企業はSBTiウェブサイトのダッシュボードや、We Mean Business Coalition等のパートナーサイト上で「Commitment to Set Targets」として公開される ・ ネットゼロ目標にコミットした企業はRace to Zeroキャンペーンに自動的に参加することとなる ・ 国連グローバルコンパクト（UNGC）に参加している場合はForward Faster Initiativeの下でも認知される

[出所] SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/services/corporates_fi）より作成

③ Develop：目標策定

■ 目標の策定に当たっては、SBTiの基準要件やガイダンスに準拠することが求められる。

目標策定	✓ SBTiの基準要件・ガイダンス等を用いて、目標を策定する ✓ 排出インベントリ ・ SBTiの最新の科学的基準に沿った目標を策定する前に、Scope1,2,3の完全なGHGインベントリをGHGプロトコルに準拠して算定する必要がある ✓ 企業の準拠すべき資料 ・ SBTi企業短期要件 ・ SBTi企業ネットゼロ基準 ・ SBTi基準評価指標（CAI） ・ 業種別の基準やガイダンス、及びSBTi企業ネットゼロ基準のセクション6を確認することで、自社に適用される業種特有の要件があるかどうかを確認する必要がある ✓ 金融機関は、以下を確認する必要がある ・ SBTi金融機関短期要件 ・ 金融機関ネットゼロ基準 ・ 特に、SBTi基準評価指標（CAI）の表6及び表7を参照することで、金融機関に特有の追加要件が適用されるかを判断することができる ✓ 中小企業は、以下を確認する必要がある※ ・ 中小企業向けCAI ・ SME向けFAQ ・ SME向け目標検証申請適合チェックリスト ・ 排出インベントリの初期段階にある中小企業は、SME Climate Hubが提供するツールを活用することができる ✓ 目標設定ツール ・ 企業及び金融機関は、SBTiの目標設定ツールと、利用可能な場合は業種別のツールを用いて、目標のモデリング及び申請を行う必要がある

※ 中小企業向けの資料はP94参照

[出所] SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/services/corporates_fi）より作成

④ Submit：【参考】基準評価指標（CAI）

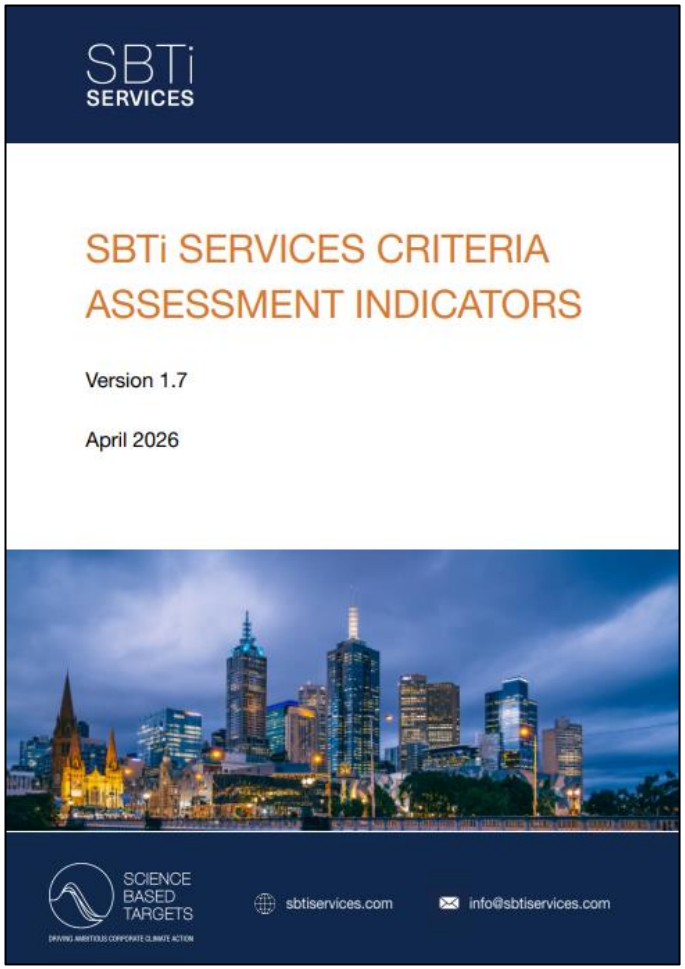
■ 企業及び金融機関は、既存のガイダンスとの整合性を確認するために本文書を活用できる。

SBTi基準評価指標（CAI）

✓ 概要
- 企業が提出した目標やデータがSBTiの基準に適合しているかを判定するためのチェックリスト
- 各CAIには、該当要件を満たすための最低限の要件内容と、適合を証明するために必要な書類が記載されている

✓ 目的
- 企業及び金融機関が申請フォームの記入時に本文書を活用し、目標が全ての関連基準を満たしてることを確認することが推奨される

✓ 使用されている言葉の定義
- Shall/must/required：必須事項
- should/can/is encouraged：推奨事項
- May：許容されるオプション
- Cannot：不可能なアクション



▲SBTi基準評価指標（CAI）

[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）、SBTi Services Criteria Assessment Indicators（https://docs.sbtiservices.com/resources/CriteriaAssessmentIndicators.pdf）より作成

④ Submit：目標申請

■ 企業及び中小企業は、検証ポータル内で目標申請手続きを直接完了することが可能である。
■ 金融機関は、専用の目標申請フォームを用いて申請を行う必要がある。

目標申請	✓ 企業及び中小企業 • 検証ポータル内で直接申請を完了することが可能 • セクター別目標を設定する企業は、関連する目標設定ツールをポータルに補足としてアップロードする必要がある ✓ 金融機関 • 以下の書類を提出する必要があり、正式な検証の前にスクリーニングが行われる ➢ 金融機関向け目標申請フォーム ➢ （該当する場合）建築付属文書（Buildings Annex） ➢ 気温評価またはポートフォリオカバレッジ目標に関連する目標設定ツール及び計算書類すべての関連ツール及びフォームは、検証ポータル及びResourcesページから入手可能 ✓ 全ての企業 • 請求書情報を提出が必要となる • SBTiサービスの利用規約に署名することが必要となる ✓ 目標の申請及び検証プロセスの進捗については、メール及び検証ポータルを通じて随時通知される ✓ 検証プロセス及び想定スケジュールの詳細については、SBTi目標検証の手続き及び検証スケジュールを参照

[出所] SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/services/corporates_fi）より作成

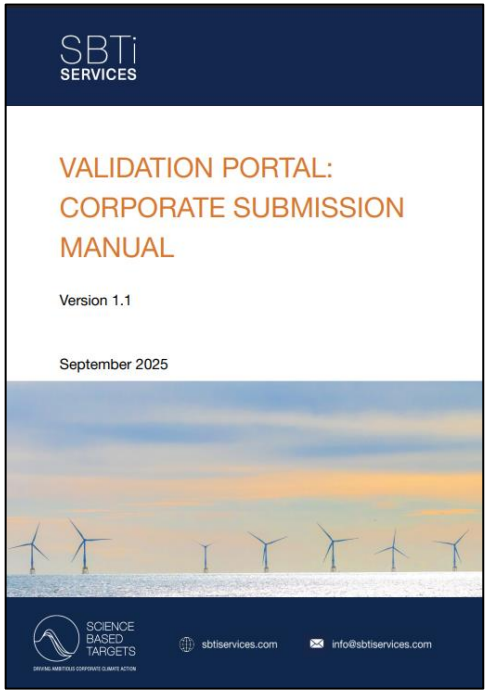
④ Submit：【参考】検証ポータル上での目標申請手順

■ 検証ポータル内での申請手順は以下の通りである。

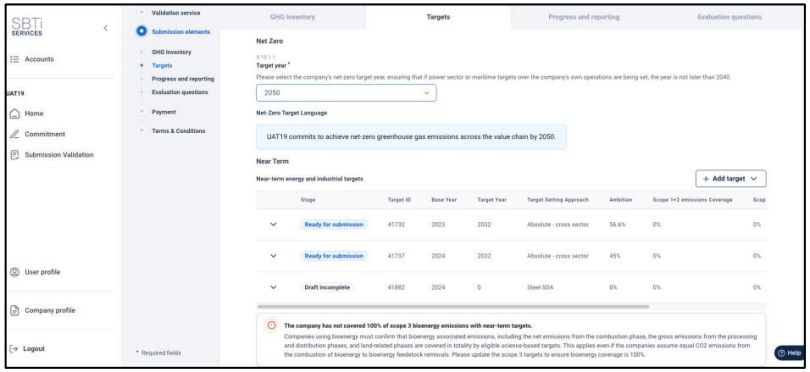
検証ポータル内での目標申請手順

準拠する資料：企業申請マニュアル

1. 検証ポータル内の「Submission Validation」タブを開く
2. 「Create new Submission」ボタンを押下
3. 表示される以下の手順に従って手続きを進める
   - ① Validation service：申請する検証サービスを選択
   - ② Submission elements
     - ✓ GHG Inventory：基準年やScopeごとの排出量を記入
     - ✓ Targets：目標等について記入
     - ✓ Progress and reporting：達成方法や開示についての質問に回答
     - ✓ Evaluation questions：将来的な変動についての回答や任意の資料をアップロード
   - ③ Payment：費用の支払い
   - ④ Term & Conditions：利用規約への同意



◀企業申請マニュアル



▲検証ポータル内の目標申請画面イメージ

[出所] Validation Portal: Corporate Submission Manual（https://docs.sbtiservices.com/resources/ValidationPortalSubmissionManual.pdf）より作成

④ Submit：【参考】目標検証の種類

検証タイプ	検証の説明	検証期間※
完全目標検証 (Full Target Validation)	✓ 自社の目標が、SBTiの基準及びガイダンスに照らして評価されるために必要となる最初の検証プロセス ✓ 検証の種類（企業、金融機関、中小企業）は、登録フェーズや検証ポータル内の他の情報に基づいて決定される	**企業**：契約開始日から40～60営業 ※サービスの種類によって異なる **金融機関**：契約開始日から60営業日 **中小企業**：契約開始日から21営業日以内
目標更新検証 (Target Update Validation)	✓ 顧客は、最新の気候科学、ベストプラクティス、組織の変化に沿うように、認定済みの目標を見直し・再計算することが可能 ✓ SBTiの基準・ガイダンスに合わせるための調整 ✓ 組織構造の変更、手法の更新、基準年の変更などに伴う目標の見直し	**企業**：契約開始日から40～60営業日 ※サービスの種類によって異なる **金融機関**：契約開始日から60営業日 **中小企業**：契約開始日から21営業日以内
義務的な5年おきの目標見直し検証 (Mandatory Five-Year Target Review Validation)	✓ 目標の野心度が引き続き最新の科学と整合していることと目標が下記のSBTi基準評価指標（CAI）に適合していることを確認する • C26（SBTi企業短期要件） • C32（SBTi企業ネットゼロ基準）※SMEにも適用 • FI-C21（金融機関の短期要件） • FINZ-C18（金融機関ネットゼロ基準）	**企業**：契約開始日から40営業日 **金融機関**：TBD **中小企業**：契約開始日から21営業日以内
影響を受けた再計算の検証 (Triggered Recalculation Validation)	✓ すでに検証された目標についても、以下のSBTi基準評価指標（CAI）に適合するために更新が必要 • C27（SBTi企業短期要件） • C33（SBTi企業ネットゼロ基準、SMEにも適用） • FI-R14（SBTi金融機関短期要件） • FINZ-C16（金融機関ネットゼロ基準） • 現行目標の野心度の向上 ✓ 影響を受けた目標のみが再評価される（再計算によって他の目標の見直しが求められる場合は除く） ✓ 再計算が行われた企業でも、その目標が直近の検証時点でのSBTi基準に適合している場合は、再提出による検証は不要となる ✓ 影響を受けていない目標は、新しいまたは更新されたSBTiの基準やガイダンスに基づき必要とされる場合を除き、再提出の義務はない	**企業**：契約開始日から40営業日 **金融機関**：契約開始日から60営業日 **中小企業**：契約開始日から20~30営業日以内
不適合申し立て調査 (Non-compliance allegations Investigation)	✓ SBTi Services は、第三者からの申し立てやランダム監査の一環として、コンプライアンスレビューを実施する場合がある ✓ 検証済みの目標が引き続きSBTiの基準に適合しているかどうかを確認するため、特定の側面について検証が行われる	N/A

※ 検証期間は、契約開始日から起算される

[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）より作成

④ Submit：【参考】目標検証チームの構成

■ 目標検証チームの体制と役割は以下の通りである。

▼目標検証チームの構成と役割

主任レビュアー （Lead Reviewers）	✓ 提出されたデータや文書を詳細に確認し、検証レポートを作成する ✓ SBTiの基準とガイダンスへの適合を確保する責任がある
ピアレビュアー （Peer Reviewers）	✓ 独立した立場でセカンドレビューを行い、データと文書が基準に適合しているか確認する ✓ レビュアーの評価をサポートする役割もある
検証者 （Validator）	✓ 検証プロセス全体を管理する ✓ SOPやSBTiの要件に従っているかを確認し、企業の検証結果に最終的な承認を与える ✓ 運営の一貫性と効率性を保つため、他のSBTiサービスチームとも連携する ✓ マネージャーや上級メンバーが務める
金融機関目標検証チーム （Financial Institutions Target Validation Team）	✓ 金融機関に関する検証の決定を承認する役割を持つ

[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）より作成

④ Submit：【参考】目標検証の段階

※ 中小企業以外の企業及び金融機関の場合

■ SBTi Servicesによる目標検証は、大きく3つの段階に分かれている。

評価段階	
契約締結	✓ 目標申請プロセスの一環として、企業はSBTi Servicesと契約を締結する必要がある ・ 検証サービスの条件、範囲、提供内容への同意を行う
初期レビュー	✓ 主任レビュアーは、提出された文書及び公開されている文書（例：サステナビリティ報告書、財務報告書、排出量の第三者検証レポート 等）について初期レビューを行う ・ 提供された情報の正確性、GHGインベントリの完全性、同業他社との整合性に焦点を当てる ・ 必要に応じて、主任レビュアーは照会（例：GHG会計手法、データ解釈、目標の文言 等）を行う ・ SBTi基準及びCAIとの適合性も確認される
検証コール	✓ 評価ステージの最初に、主任レビュアーは通話を設定し、照会事項、不適合、補足説明の確認を行う ・ 企業が質問を行う機会にもなる
ピアレビュー	✓ ピアレビュアーが、提出物及び主任レビュアーによる評価内容、企業が提出した追加情報を対象に独立したセカンドレビューを実施する
判定段階	
中間報告書	✓ 評価段階の終了時点で、照会事項や不適合が未解決のまま残っている場合、レビュアーがその内容をまとめた中間報告書を作成し、企業に共有する ・ この報告書が送付された時点で、企業は判定段階に移行したとみなされる
決定段階	
照会 及び/または 修正のレビュー	✓ 独立したレビュアーが、以前の照会事項に対する明確化や、申請フォームまたは該当する目標設定ツールの修正として提出された追加情報を評価する ✓ ピアレビュアーは主任レビュアーに対して問題提起をすることがあり、提起された問題が修正された後、両者は勧告に関して合意する必要がある
勧告	✓ 主任レビュアーは勧告文書を作成し、企業に関する検証の場合は検証者が、金融機関に関する検証では金融機関目標検証チームが確認を行う ・ SBTiの基準及びガイダンス要件への適合確認、不適合事項の文書化及び解決、ならびに検証者または金融機関目標検証チームがレビューを完了するために必要なその他の関連情報を含む ・ 検証者または金融機関目標検証チームがさらなる明確化を必要とする場合、主任レビュアーは会社に追加情報の提供を求め、解決後に第二の勧告文書を検証者または金融機関目標検証チームに発行する
検証決定	検証者または金融機関目標検証チームは、主任レビュアー及びピアレビュアーの勧告に基づいて最終決定を行う ✓ 認定：提出された目標が、適用されるすべてのSBTi基準及びガイダンス要件を満たしている場合 ✓ 却下：提出された目標がSBTi要件を満たしていない、あるいは未解決の問題があった、または会社がレビュアーの提出期限を守らなかった場合

※ 中小企業についてはP97を参照

[出所] Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）より作成

⑤ Communicate：結果の通知・公開

- SBTi Servicesは検証ステートメントを通じ、結果を企業に通知する。
- 認定を受けた企業の目標は、SBTiウェブサイト内のダッシュボードで公開される。

結果の通知	✓ 検証ステートメント • 最終的な検証決定に基づき、主任レビュアーが検証ステートメントを作成し、企業に通知する • 検証ステートメントが企業に通知された時点で、検証プロセスが完了する ✓ 検証レポートが企業に提供される（以下はその内容の例） • 企業のGHGインベントリの概要 • 認定された目標の内容 • 適用されるCAI及び基準に対する適合状況 • 将来的な対応に関連する詳細情報
目標の公開	✓ 全ての認定済み目標は、SBTiウェブサイトのダッシュボードに掲載される • 企業は目標の公開日の変更を要請することが出来るが、検証結果が出てから6か月以内に公開する必要があり、それを超えると当該目標は無効となり、その目標は再検証が必要となる ✓ 新たに認定された目標について、適切な情報発信を行うためのガイドラインを含むウェルカムパックを受け取る • 認定された目標について社内外で発信する際、企業はSBTiコミュニケーションガイドラインに従う必要がある • 比較可能性と透明性の観点から、企業はテンプレートを用いて逸脱しない表現を用いる必要がある

[出所]Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets（https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf）、SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/）より作成

⑥ Disclose：開示

■ 目標の認定を受けた企業は、GHG排出量と目標に対する進捗状況について年次で開示する必要がある。

進捗状況の開示	✓ 毎年、GHG排出量及び目標に対する進捗状況を開示するとともに、目標達成に向けた進捗状況を継続的にもモニタリングする必要がある（以下は開示場所の推奨例） ・年次報告書 ・サステナビリティレポート ・自社ウェブサイト ・CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト） ・CSRD（企業持続可能性報告指令） ・その他一般に公開される文書 ✓ 開示に関する詳細なガイダンスはSBTi企業ネットゼロ基準の付属書D及び金融機関ネットゼロ基準の第4.1章を参照

[出所] SBTi Servicesウェブサイト（https://sbtiservices.com/services/corporates_fi）より作成

検証サービスの料金

■ 検証サービスの料金は組織のティアと利用するサービスの種類に基づき決定される。

検証サービスのメニュー表

企業 サービス	ティア 1※2	ティア 2	ティア 3	ティア 4
短期目標 (申請※1)	$13,000	$16,000	$21,000	$26,000
ネットゼロ目標 (申請)	$11,000	$12,000	$15,000	$18,000
短期目標及びネットゼロ目標 (申請)	$17,000	$20,000	$27,000	$34,000
短期目標及び/または ネットゼロ目標 (更新)	$5,500	$6,000	$8,500	$10,000
短期目標 (更新※1) 及びネットゼロ目標 (申請)	$15,000	$16,000	$21,000	$25,000
FLAG目標及び/または建築セクターの目標 (申請)	$9,000	$10,000	$13,000	$16,000
FLAG目標及び/または建築セクターの目標 (更新)	$4,500	$5,000	$6,500	$8,000
金融機関 サービス	**ティア 1**	**ティア 2**	**ティア 3**	**ティア 4**
短期目標 (申請)	$20,000	$26,500	$41,500	$49,800
ネットゼロ目標 (申請)	$20,000	$26,500	$41,500	$49,800
短期目標 (更新)	$10,000	$13,250	$21,000	$25,000
中小企業 サービス	**ティア 1**	**ティア 2**	**ティア 3**	**ティア 4**
短期目標 (申請)	$1,250	$2,000	N/A	N/A
ネットゼロ目標 (申請)	$1,250	$2,000	N/A	N/A
短期目標及びネットゼロ目標 (申請)	$2,500	$3,500	N/A	N/A

※1 申請は目標の新規設定、更新は既存の目標のアップデートを示す
※2 組織のティアについては次ページ参照
[出所] Target Validation Service Offerings（https://docs.sbtiservices.com/resources/TargetValidationServicesOfferingsV6.pdf?v=6.1）、
Target Validation Application Checklist For SMEs（https://docs.sbtiservices.com/resources/TargetValidationApplicationChecklistforSMEs.pdf）より作成

検証サービスの料金

- 組織ごとに、年間売上高に基づくティアが設定されている。
- ティア及び組織区分は登録時に決定され、その時の最新の財務諸表が確認される。

組織のティア（組織区分・年間売上高別）※

	企業	金融機関	中小企業
ティア1	€250m未満	€1B未満	€5m未満
ティア2	€250以上 €1B未満	€1B以上 €10B未満	€5m以上
ティア3	€1B以上 €10B未満	€10B以上 €30B未満	N/A
ティア4	€10B以上	€30B以上	N/A

※ 適用される料金区分及び組織区分は、検証サービスの登録時に決定され、その際、最新の財務諸表に基づき年間売上高を確認される。年間売上高は、ユーロ建てで表示され、10億（B）、100万（M）単位で表記される
[出所] Target Validation Service Offerings（https://docs.sbtiservices.com/resources/TargetValidationServicesOfferingsV6.pdf?v=6.1）より作成